

難民受け入れの取り組みについて

2020年12月22日
東洋電機株式会社
SDGs推進室

東洋電機ではSDGs実現に向けた貢献のひとつとして「難民支援」を行っています。

10 人や国の不平等
をなくそう



SDGs 10-7

「計画に基づき良く管理された移民政策の実施などを通じて、
秩序のとれた、安全で規則的かつ責任ある移住や流動性を促進する」

弊社では2020年度、RHQ（公益財団法人 アジア福祉教育財団難民事業本部）の第三国定住支援プログラムを通して、ミャンマー難民3名の受け入れをおこないました。難民の3名は、マレーシアのUNHCR（国連高等難民弁務官事務所）より日本国政府が要請を受け、RHQのサポートで2019年9月に来日しました。

ミャンマーは2016年に軍政からアウン・サン・スー・チー氏を党首とするNLD（国民民主連盟）に政権が移行され民主化しましたが、国内ではイスラム系の「ロヒンギャ難民」問題や、それ以外にも独立・自治を求めて未だ多くの民族が戦闘を続けており多くの難民が生まれています。

「難民」とひとくりにされがちな人々にも、それぞれの人生があり家族があります。生まれた国から逃れてきた難民が、避難先の国で安定した生活を送るためには自立した収入（仕事）が必要です。弊社はグローバル人材育成のための高度外国人材採用や、外国人技能実習生の受け入れを行ってきた実績が評価され、商工会議所からミャンマー難民の受け入れを打診されました。受け入れをトップダウンで決定したのち、RHQとの連携のもと彼らは製造現場で半年間のトレーニングを受け、2020年10月より3名全員を正社員として採用しました。採用後は製造現場での指導に加え、社員による日本語教育研修を定期的におこない、自立に向けて積極的支援を行っています。

また、社内に難民を受け入れることでダイバーシティー（多様性）を促進し、さらに社員がその理解を深めることにもつながっています。

難民の第三国定住に関する取り組みを歓迎し、SDGs実現に向けて関連団体と共働しています。